

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期飯田市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

長野県飯田市

3 地域再生計画の区域

長野県飯田市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の総人口は、平成12年の101,581人だったものが、令和2年の国勢調査では98,164人と減少傾向にある。国立社会保障・人口問題研究所における将来人口の推計では、令和27年には約75,000人になると推計されている。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は平成12年の16,882人だったものが年々減少し、令和4年には11,792人となる一方、老年人口（65歳以上）は平成12年に26,056人だったものが、令和4年には31,744人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も平成12年67,651人だったものが、令和4年には52,407人と年々減少し、令和2年の国勢調査の人口構成では、0歳から14歳までの年少人口が14.6%、生産年齢人口が56.9%、老年人口28.8%に対して、令和4年度には、年少人口が12.3%、生産年齢人口が54.6%、老年人口が33.1%となっており、65歳以上の老年人口は全国平均よりも多く、15歳から64歳までの生産年齢人口は全国平均よりも少ない値を示している。特に、20歳台の若者が少ない傾向であり、これは、高等教育機関が少ない当地域において、高校卒業後約7割がこの地を離れることが大きな要因と思われる。

本市の自然動態では、少子高齢化の傾向に歯止めがかけられず、平成15年以降は死亡数が出生数を上回る自然減の状態が続いている。令和4年の出生数は649人、死亡数は1,436人となっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然減

は787人となっている。

なお、地域全体で子育てを応援する仕組みづくりを進め、合計特殊出生率は県内19市で高い値を示している。また、「市民総健康」と「生涯現役」を目指す健康増進施策にも積極的に取り組んでいる。

社会動態では、平成25年は転入者（3,046人）を転出者（3,331人）が上回る社会減（285人）であるが、令和4年も転入者（3,203人）を転出者（3,579人）が上回る社会減（376人）となっており、ゆるやかな社会減の傾向が続いている。高等教育機関が少ない本市では、一旦はこの地域を離れても、再びここに戻って安心して子育てができる「人材サイクルの構築」に向けて、「産業づくり、人づくり、地域づくり」を一体的に進めている。

「国立社会保障・人口問題研究所」における将来人口の推計では、令和27年には約75,000人になると推計されているが、子どもを産み育てやすい環境をいかした若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる政策や、飯田独自のライフスタイルの提案による新たな人の流れづくり等に積極的に取り組み、令和10年は約92,000人、令和27年は約91,000の人口を維持することを目指す。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、市民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標1 市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる
- ・基本目標2 人がつながり助け合い、社会基盤を強化して安全・安心なまちをつくる
- ・基本目標3 飯田(ここ)で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる
- ・基本目標4 自然と共に歩む豊かな循環型社会をつくる
- ・基本目標5 誰もが多様な働き方で活躍でき、次世代につながる魅力ある産

業をつくる

- ・基本目標 6 誰もが生涯を通じてその人らしく暮らすまちをつくる
- ・基本目標 7 リニア・三遠南信道時代に向けたまちの基盤をつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和10年度)	達成に寄与 する地方版 総合戦略の 基本目標
ア	これからも飯田市に住み続け たいと思う市民の割合(%)	85.9	87.0	基本目標 1
	住んでいる地区や飯田市の自 然、歴史、文化等に誇りや愛着 がある人の割合(%)	75.4	75.4以上	
	飯田の「ムトス」という言葉を 知っている市民の割合(%)	81.7	86.0	
	後期期間中にまちづくり委員 会の組織・事業の見直しを行 った地区数(地区)	20	20 (累計)	
	自治活動組織への加入率(%)	67.7	69.0	
	後期期間中に組合加入促進コ ーディネーター活動により組 合加入に至った件数(件)	190	800 (累計)	
	【小中学校】 地域や社会を良くするために 何かしてみたいと思いますか (全国学力・学習状況調査)(%) 【高校】 地域(社会)をよりよくするた	小 86.0 中 77.5 高 58.7	小 86.0以上 中 77.5以上 高 58.7以上	

ア	めに、地域課題の解決に関わ りたいと思いますか(高校生 意識調査)(%)			基本目標 1
	【小中学校】 人の役にたつ人間になりたい と思う(全国学力・学習状況調 査)(%)			
	【高校】 地域(社会)と自分のつながり や関係を意識しながら、自分 の将来について考えることが ありますか(高校生意識調査) (%)	小学校 96.9 中学校 93.9 高校 57.7	小学校 96.9 中学校 93.9 高校 57.7以上	
	新規移住相談件数(件)	263	280	
	U I ターン移住者数(人)	127	140	
	20地区応援隊寄附件数(件)	55	60	
	市民活動・地域活動に参加し ている市民の割合(%)	69.0	75.0	
	ムトス助成事業 支援件数 (件)	42	45	
	他地域(外国人を含む)からの 人 を受け入れる市民の割合 (%)	85.0	92.0	
	審議会委員等 女性登用者数 割合(%)	30.8	33.0	
	文化活動(芸術の鑑賞など)を 年1回以上行っている人の割 合(%)	59.1	65.0	

ア	週 1 回以上スポーツに親しむ 成人の割合(%)	53.9 (長野県61.2%)	61.2以上	基本目標 1
	運動・スポーツをする以外に、 観たり、大会運営等に関わっ ている人の割合(%)	54.4	54.4	
	歩行者・自転車通行量(人)	5,950	6,350	
	市営駐車場利用台数(台)	371,597	400,000	
	飯田市ブランド推進係 X フ ォロワー数(フォロワー)	4,625	7,000	
	飯田プロモーションインスタ グラムフォロワー数 (フォロワー)	931	2,000	
イ	顔が見える関係で、有事に支 え合う(助け合う)関係がある と考えている市民の割合(%)	71.7	73.0	基本目標 2
	災害に備え食料を備蓄してい ると回答した市民の割合(%)	74.2	100.0	
	個別避難計画の策定割合(%)	17.0	100.0	
	刑法犯認知件数(件)	279	255	
	準用河川の対策箇所の実施率 (%) [箇所]	0 [0]	32.3 [98]	
	橋梁長寿命化修繕工事の実施 率(%) [箇所]	25 [18]	100 [71]	
	人身交通事故の発生件数(件)	176	175	
ウ	信州やまほいく 認証施設数	24	28	基本目標 3
	乳幼児健診・乳幼児相談 の受 診率(%)	98.0	98.0	
	産後の指導・ケアを十分に 受	88.9	92.0	

ウ	けることができた と 回答した人の割合 (%)			基本目標 3
	「家庭がほっとできる、安心できる場所」と思う又はどちらかというと思う子ども・若者の割合 (%)	こども 87.6 若者 89.4	こども 92.5 若者 92.5	
	飯田市に住みたいと思う又はどちらかというと思う若者の割合 (%)	59.2	69.2	
	「自分にはよいところがあると思う」と 回答した児童生徒の割合 (%)	小 81.8 中 77.7	小 81.8以上 中 77.7以上	
	【小中学生】 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか (全国学力・学習状況調査) (%)	小 86.0 中 77.5	小 86.0以上 中 77.5以上	
	【高校】 地域(社会)をよりよくするために、地域課題の解決に関わりたいと思いますか(高校生意識調査) (%)	高 58.7	高 58.7以上	
	「将来の夢や目標を持っている」と 回答した児童生徒の割合 (%)	小 80.3 中 59.8	小 80.3以上 中 59.8以上	
	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童・生徒の割合 (%)	小 81.3 中 82.8	小 81.3以上 中 82.8以上	基本目標 3

ウ	合 (%)			
エ	環境に関する学習会や知識を高めるような行事に関わったり、参加した人の割合 (%)	20.1	35.0	基本目標 4
	環境文化都市の認知度 (%)	58.7	70.0	
	市民一人当たりが 1 日に排出するごみの量 (家庭系一般廃棄物) (g)	548.9	500.6	
	家庭から排出されるごみのリサイクル率 (%)	22.3	28.4	
	エシカル消費を日常的に心がけ実践している人の割合 (%)	66.2	75	
	二酸化炭素排出量 [2013 年比] (%)	100	50	
	OECD としての国際データベース登録に向けた申請数	0	3	
オ	新規高校・大学等卒業者 の地域内就職率 (%)	35.4	45	基本目標 5
	長野県職場いきいきアドバンスカンパニー認証企業数 (社)	25	45 (累計)	
	新規就農者数 (自営・親元就農) (人)	9	30 (累計)	
	I-Port、ビジネスプランコンペにより成立する創業・新事業展開・事業転換の件数 (件)	8	40 (累計)	
	市田柿出荷量 (南信州) (t)	2,075	2,200	
	搬出材積 (国有林を除く)	7,690	50,400 (累計)	

オ	(m ³)			基本目標 5
	ネスクイイダ引合件数 (全体) (件)	584	600	
	製造業の粗付加価値額 (飯田下伊那) (億円)	1,618	1,700	
	観光入込客数 (遠山郷を除く) (人・暦年)	527,300	558,300	
	観光地消費額 (遠山郷を除く) (百万円・暦年)	763	828	
	遠山郷の観光入込客数 (人・暦年)	70,700	160,000	
	遠山郷の観光地消費額 (百万円・暦年)	160	260	
	市民の市内店舗での地域産品 購入率 (%)	84.4	90	
	ネスクイイダ引合件数 (会員間) (件)	63	70	
	環境に配慮した農産物地域相 互認証制度の認定者数 (人)	11	30 (累計)	
	学校給食に提供する有機米の 圃場面積 (a)	25	100	
	市産材の活用支援を利用した 建築件数 (件)	17	100 (累計)	
	企業立地・振興補助金交付件 数 (件)	2	8 (累計)	
	サテライトオフィス補助金交 付件数 (件)	2	8 (累計)	
カ	近所の人と支え合うことを実	71.7	73.0	基本目標 6

カ	感している人の割合（％）			基本目標 6
	ひきこもり家族学習会への参加促進（人）	6	10	
	障がい福祉の理解啓発（研修会への参加者数）（人）	61	100	
	健康寿命（歳）	男性81.55 女性84.25	前年を上回る 健康寿命の延伸	
	国民健康保険加入者の 特定健診受診率（％）	44.6	57.5	
	20歳、30歳、40歳の 歯科健診受診率（％）	19.9	20	
	要介護認定出現率（％）	17.85	18.81	
	初回要介護認定時の 平均年齢（歳）	84.03	84.08	
キ	リニア駅前広場整備の整備率（整備可能部分）（％）	21	100	基本目標 7
	座光寺S I C 関連道路の整備率（％）	88	100	
	公共交通利用者数（人）	310,887	288,000	
	住民へのリニア中央新幹線に関する情報発信回数（説明会・広報等）（回）	42	45	

5 地域再生を図るために行う事業

5－1 全体の概要

5－2 のとおり。

5－2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する

特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期飯田市まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる事業
- イ 人がつながり助け合い、社会基盤を強化して安全・安心なまちをつくる事業
- ウ 飯田(ここ)で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる事業
- エ 自然と共に歩む豊かな循環型社会をつくる事業
- オ 誰もが多様な働き方で活躍でき、次世代につながる魅力ある産業をつくる事業
- カ 誰もが生涯を通じてその人らしく暮らすまちをつくる事業
- キ リニア・三遠南信道時代に向けたまちの基盤をつくる事業

② 事業の内容

- ア 市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる事業
 - ・20 地区の基本構想・基本計画の実現に向けて、地域のつながりを基盤にした持続可能なまちづくりの取組を支援する。
 - ・地域の問題や関心事について、学習活動や実践活動等住民が主体的に課題解決に挑戦できる環境を整備し、地域を支える多様な人材の育成につなげる。
 - ・未来の担い手であるこどもたちにとって「将来も住み続けたいまち」であるため、地域全体でこどもを育む様々な取組を行う。
 - ・20 地区がそれぞれの多様な地域資源を活用し、魅力ある地域づくりに取り組むことで、関係人口の創出・拡大から移住定住を目指す「20 地区田舎へ還ろう戦略」を、地域と行政が協働して進める。
 - ・移住定住の推進に向けて、まちづくりの原動力となる若者に「選ばれる地域」となるための様々な取組を全市的に展開する。
 - ・ムトスの精神による市民活動の輪を広げ、市民活動団体やNPO法人等による市民や地域が元気になる取組を支援する。

【具体的な事業】

人形劇のまちづくり事業、市民スポーツ推進事業、移住定住推進事業等

イ 人がつながり助け合い、社会基盤を強化して安全・安心なまちをつくる事業

- ・安全・安心な暮らしの実現に向けて、人と人とのつながりを広めて「地域の力」を高めていくとともに、地域のことを地域で考える主体的なまちづくりを支援する。
- ・「自助」の大切さを市民一人一人が認識できる取組を進める。
- ・災害発生に備えた環境整備をはじめ、防災学習や地震被害想定調査結果を踏まえた対策の検討等、公助の取組を更に推進する。
- ・地域とともにある消防団の組織体制を整備するとともに、消防力・防災力の維持・向上を図る。
- ・安心して暮らすために、日常における市民の防犯意識の高揚をはじめとする犯罪被害防止の取組を進める。
- ・安全・安心な暮らしを支える社会基盤の長寿命化と安全対策を計画的に進めるとともに、自然災害に備え防災・減災・強靱化を図る。
- ・平時における動画等を活用した防災学習や大規模災害時に備えた防災DXに取り組む。

【具体的な事業】

地域自治活動支援事業、防災対策推進支援事業 等

ウ 飯田(ここ)で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる事業

- ・こども・若者の意見を聴き、大人も一緒に考え、実現することで、自己有用感や自己肯定感を感じることができ、積極的に物事に関わろうとする文化、風土を醸成する。
- ・発達段階に応じて自然や文化・芸術に触れ、多様な人と関わる実体験や経験、地域との関わりを持ちながら、生涯にわたって、主体的に他者と協働しながら自らの未来を描き、その実現に向けて生き抜いていける力の基礎を育む。

- ・妊娠、出産、育児・子育ての心配や不安等個々のニーズに寄り添い、子育てに魅力を感じられるよう、継続した効果的な相談・支援に取り組む。
- ・未来を見据えて地域の良さを生かしながら、全てのこどもにとって魅力ある学びの環境づくりを進める。
- ・様々な困難を抱えるこども・若者やその家庭を誰一人取り残さず、その特性やニーズに応じた相談等に寄り添ったきめ細かな支援を途切れなく提供する。
- ・こども・若者の健全な育成を実現するため、ライフステージにあわせた経済的（家計）支援に取り組む。
- ・安心して利用できる公共施設や社会基盤の整備、通学路安全対策等をこどもの視点も取り入れて整備する。
- ・若者がこの地域に暮らしながら学びを深め、希望をかなえることができる環境の充実に取り組む。
- ・こども・若者からの意見聴取や様々な子育て情報発信の手段として、デジタル技術の活用を推進する。

【具体的な事業】

みんなで創るこどもまんなか社会事業、飯田のキャリア教育事業 等

エ 自然と共に歩む豊かな循環型社会をつくる事業

- ・環境文化都市づくりプラットフォーム「うごくる。」を通じて環境文化都市の理念浸透や意識変革を市民に広く働きかけるとともに、地域資源を生かした環境学習を進めることで一人一人の行動変容を促す。
- ・サーキュラーエコノミーへの移行を視野に入れ、3Rを更に推進するとともに、水等の循環利用の研究を進め、消費者、事業者に対しても新たな資源循環について理解が深まるよう働きかける。
- ・2050年いいだゼロカーボンシティ実現に向けて、エネルギーの見える化を進め、エネルギーの効率的利用をはじめとした省エネルギーを促進するとともに、グリーン水素利活用の研究や地域産再生可能エネルギーの創出及び利活用を進める。
- ・ネイチャーポジティブの実現に向けて、生物多様性への理解を深め、地域の豊かな自然環境の保護及び利活用を進める。

- ・一人一人の行動変容を促すため、エネルギーの見える化の研究や3Rの啓発に向けた情報発信にデジタル技術を活用する。

【具体的な事業】

脱炭素先行地域づくり事業、省エネルギー推進事業、水の循環利用の実装の研究事業 等

オ 誰もが多様な働き方で活躍でき、次世代につながる魅力ある産業をつくる事業

- ・地域の全ての産業を支える担い手を育成・確保するため、若者や親世代に地域産業の魅力を伝えるとともに、誰もが多様な働き方ができ、安心して働き続けられる環境づくりを支援する。
- ・地域産業の更なる成長に向け、企業の稼ぐ力を高めるため、大学等との連携を図り、地域産業の高付加価値化・ブランド化に取り組む。また、次世代空モビリティ・水素分野をはじめとする新産業への取組と脱炭素社会の構築への挑戦を支援する。
- ・南信州地域が旅の目的地となるように、多様な主体が参画した取組により遠山郷、天龍峡等への誘客を図る。また、地域固有の風土、人々の営み等の地域の魅力や資源を活用して、サステナブルツーリズムを推進し、リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の開通を見据えて関係人口の創出・拡大に取り組む。
- ・地域の産業において、域内生産・域内消費・域内発注・域内調達により地域からの所得の流出を低減するとともに、外部環境の影響を受けにくく環境負荷低減に寄与する地域内経済循環の取組を推進する。また、農業や林業が持つ多面的機能の理解を深め、豊富な資源や景観を活用する視点から、「農ある豊かな暮らし」を推進する。
- ・リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の開通を見据えて産業用地等の整備を進め、地域の特性・強みを生かして企業・事務所機能等の誘致に取り組む。また、脱炭素社会の構築への取組を進める企業の新規立地や拡張を支援する。
- ・デジタル人材の育成と情報通信技術関連企業・人材の誘致・確保に取り組む、デジタル技術活用等により事業者の省力化と、生産性・サービス

向上の促進を支援する。

【具体的な事業】

地域内経済循環推進事業、新産業創出支援事業、滞在交流型観光の推進事業 等

カ 誰もが生涯を通じてその人らしく暮らすまちをつくる事業

- ・共に支え合い、助け合い、誰もが住み慣れた地域で暮らすことができる地域共生社会の実現を目指して、多様な主体と協働し、地域福祉を推進する。
- ・福祉課題を抱えた市民の孤立を防ぐため、多様な主体が連携して問題解決を目指す仕組みを構築し、世代や属性を超えた交流の場や個々のニーズに応じた居場所を整備するとともに、アウトリーチ等を通じた支援をする。
- ・研修会や広報活動等を通じて、市民の障がいに対する正しい理解を深め、障がい者が安心して地域で生活し、社会参加できるよう、差別や虐待のないまちを目指す。
- ・全世代に向け自身の健康維持や健康増進の取組を推奨し、年代に応じた健康づくりの取組により、生活習慣病予防や重症化予防、歯周病予防及び将来の介護予防を推進する。
- ・高齢者が自分らしく充実した生活を目指し、健康づくりや介護予防、重度化防止に意欲的に取り組み、積極的に地域や社会で活躍するよう支援する。
- ・医療・介護サービスの提供体制を維持するため、担い手の確保や従事者の離職防止、関係団体との連携強化に取り組む。
- ・デジタル技術の活用により、市立診療所等の医療体制の充実を図る。

【具体的な事業】

地域福祉推進事業、市民の健康づくり事業 等

キ リニア・三遠南信道時代に向けたまちの基盤をつくる事業

- ・リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の開通を見据えた土地利用や景観のあり方を全市的な視点で検討を行うため、まずはリニア駅周辺及びその近郊における喫緊の課題から検討、見直しに取り組む。

- ・リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を地域振興に活かすため、関連道路等の整備による広域的道路ネットワークの強化を図るとともに、リニア開業の遅延に関わらず選ばれ訪れたいくなるような地域の形成を目指した拠点間道路ネットワークの整備を推進する。
- ・リニア駅前広場の一部供用に向けた運営方法の検討を行う等段階的な活用を目指し、関係機関との調整を図るとともに、関係者等の意向や環境影響に十分配慮しながらグリーンインフラの考え方を取り入れ、自然と調和した利便性の高いリニア駅前広場の整備を進める。
- ・リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の開通に向けた機運醸成を図るため、市民への適時適切な情報を発信する。
- ・次世代モビリティやデジタル技術を活用し、目的地へ円滑にいざなうことができるリニアからの二次交通の検討を進めるとともに、路線ごとの利用特性やニーズの把握を行い利用者が使いやすい持続可能な地域公共交通の構築に取り組む。

【具体的な事業】

土地利用計画推進事業、リニア推進事業、情報システム事業 等

※なお、詳細はいいだ未来デザイン 2028 後期計画のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4 の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

10,800,000 千円（令和 7 年度～令和 10 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

毎年度 7 月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本市公式 W E B サイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 11 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 11 年 3 月 31 日まで